



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 森組

上場取引所 東

コード番号 1853 URL <http://www.morigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,453	24.8	89	70.1	97	66.7	72	62.2
2019年3月期第1四半期	7,256	17.1	298	31.6	293	32.7	192	34.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.22	
2019年3月期第1四半期	5.88	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	23,185	11,440	49.3	349.32
2019年3月期	26,487	11,912	45.0	363.75

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 11,440百万円 2019年3月期 11,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				16.00	16.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の期末配当金の内訳は、普通配当14円00銭、創業120周年記念配当2円00銭であります。

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	1.2	2,510	20.3	2,510	20.3	1,710	21.6	52.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,800,000 株	2019年3月期	32,800,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	50,302 株	2019年3月期	50,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	32,749,698 株	2019年3月期1Q	32,749,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
3. 補足情報	8
四半期受注の概況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方で、米中通商問題の動向が世界経済へ与える影響等が懸念され、先行き不透明な状態で推移しました。

建設業界におきましては、公共建設投資や企業の設備投資は堅調に推移しているものの、民間の住宅建設投資に伸び悩みがみられ、全体的には底堅い動きとなりました。一方、建設技術者及び技能労働者不足は解消されておらず、人手不足による労務単価の上昇や原材料価格の高騰などの不安要因は依然として残り、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当第1四半期累計期間における経営成績は、工事受注高は1,789百万円（前年同四半期比30.9%減）となり、売上高5,453百万円（前年同四半期比24.8%減）、営業利益89百万円（前年同四半期比70.1%減）、経常利益97百万円（前年同四半期比66.7%減）、四半期純利益72百万円（前年同四半期比62.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業におきましては、受注高1,789百万円（前年同四半期比30.9%減）、売上高5,231百万円（前年同四半期比24.6%減）、セグメント利益322百万円（前年同四半期比33.6%減）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高8百万円（前年同四半期比17.3%増）、セグメント利益2百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

(碎石事業)

碎石事業におきましては、売上高213百万円（前年同四半期比30.6%減）、セグメント利益10百万円（前年同四半期比66.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比3,301百万円減少の23,185百万円となりました。この主な要因は、現金預金1,664百万円の増加と、受取手形・完成工事未入金5,332百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比2,829百万円減少の11,745百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金740百万円の増加と、支払手形・工事未払金等1,779百万円、短期借入金900百万円及び未払法人税等797百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比472百万円減少の11,440百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益72百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる523百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は49.3%（前事業年度末は45.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で見直した結果、2019年5月14日の決算発表時に公表した数値から特に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,735	11,399
受取手形・完成工事未収入金	12,446	7,114
売掛金	226	173
未成工事支出金	20	14
たな卸不動産	0	0
商品及び製品	2	7
材料貯蔵品	45	48
その他	1,230	1,593
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,701	20,344
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,110	1,111
機械、運搬具及び工具器具備品	1,878	1,908
土地	862	862
リース資産	114	114
減価償却累計額	△2,194	△2,224
有形固定資産合計	1,770	1,770
無形固定資産		
無形固定資産	42	41
投資その他の資産		
投資有価証券	353	330
長期貸付金	22	21
前払年金費用	392	459
繰延税金資産	51	65
その他	166	165
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	971	1,028
固定資産合計	2,785	2,841
資産合計	26,487	23,185

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,401	8,621
短期借入金	900	—
未払法人税等	846	48
未成工事受入金	797	1,537
完成工事補償引当金	200	150
工事損失引当金	16	12
賞与引当金	219	483
その他	1,171	872
流動負債合計	14,552	11,726
固定負債		
その他	21	18
固定負債合計	21	18
負債合計	14,574	11,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	10,036	9,585
自己株式	△4	△4
株主資本合計	11,874	11,422
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38	17
評価・換算差額等合計	38	17
純資産合計	11,912	11,440
負債純資産合計	26,487	23,185

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
完成工事高	6,940	5,231
碎石事業売上高	308	213
不動産事業売上高	7	8
売上高合計	7,256	5,453
売上原価		
完成工事原価	6,326	4,760
碎石事業売上原価	267	193
不動産事業売上原価	8	5
売上原価合計	6,602	4,959
売上総利益		
完成工事総利益	614	470
碎石事業総利益	41	20
不動産事業総利益又は不動産事業総損失(△)	△1	2
売上総利益合計	654	494
販売費及び一般管理費	355	405
営業利益	298	89
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
受取事務手数料	1	1
固定資産売却益	1	5
雑収入	0	1
営業外収益合計	9	14
営業外費用		
支払利息	13	5
雑支出	1	0
営業外費用合計	14	6
経常利益	293	97
税引前四半期純利益	293	97
法人税、住民税及び事業税	84	37
法人税等調整額	16	△12
法人税等合計	101	25
四半期純利益	192	72

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	6,940	7	308	7,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1	1
計	6,940	7	309	7,257
セグメント利益又は損失(△)	486	△1	30	514

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	514
全社費用(注)	△216
四半期損益計算書の営業利益	298

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	5,231	8	213	5,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	0	0
計	5,231	8	213	5,453
セグメント利益	322	2	10	335

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	335
全社費用(注)	△246
四半期損益計算書の営業利益	89

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期受注の概況

1. 受注実績

項目	受注高	
2020年3月期第1四半期累計期間	1,789百万円	△30.9%
2019年3月期第1四半期累計期間	2,590百万円	△40.9%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②海外受注高はありません。

③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	1,438	55.5%	1,441	80.6%	2	0.2%
		民間	6	0.3%	3	0.1%	△3	△55.6%
		計	1,445	55.8%	1,444	80.7%	△0	△0.1%
設	建築	官公庁	22	0.9%	158	8.9%	135	592.0%
		民間	1,121	43.3%	185	10.4%	△936	△83.5%
		計	1,144	44.2%	344	19.3%	△800	△69.9%
業	計	官公庁	1,461	56.4%	1,600	89.5%	138	9.5%
		民間	1,128	43.6%	188	10.5%	△940	△83.3%
		計	2,590	100%	1,789	100%	△801	△30.9%

2. 受注予想

項目	受注高	
2020年3月期 通期予想	32,500百万円	△14.6%
2019年3月期 通期実績	38,048百万円	21.1%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率